

青嶺 Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

桜に迎えられた 新しいスタート

不安定な気候に、眠っていたような桜の木々でしたが、4月になり新しい年度を迎えたとたん、一斉に開花し美しい姿を披露してくれました。

ある生徒から、入学式前に散りそうだからもったいないですね、と話しかけられました。美しいものを感じると、新しい感性と、まだ見ぬ新入生への優しい思いやりを嬉しく思います。日々移り変わり、違う美しさを見せる桜に諸行無常をひしひしと実感します。精一杯花を咲かせようとす

る桜の生命力に感動し、わたしたち人間も時の移り変わりを自覚しながら、精一杯生きなければ、と思いを新たにします。素晴らしい子どもたち、地域、環境に感謝しながらまた全員で頑張っていきたいと思います。これからの一年、どうぞよろしくお願いたします。

転入職員の紹介

令和6年度の定期人事異動により、転入してきた職員を紹介いたします。

*** ** **

新しく赴任した職員は6名です。初任者指導として週3日、**講師が参りま**す。新2、3年生との初顔合わせは8日(月)の赴任式となりました。これから、どうぞよろしくお願いたします。

始業式で話しました

今日から新しい先生方を迎えて、新しい青嶺中学校のスタートです。3日後には入学式があり新入生を迎えます。2年生は、去年の自分を思い出し、すぐ上の先輩として

いろいろなことを教え、導いてください。3年生はいよいよ最高学年、義務教育の最終学年です。何事にも全力で取り組み、精一杯楽しんで、悔いを残さないようにして下さい。「楽しい」と「楽」は同じ漢字です。「楽」はたやすい、簡単という意味があります。ではたやすく、簡単に出来る

ことが「楽しい」でしょうか？そういう場合もあるでしょうが、困難を乗り越えて何かをつかめたとき、その途中は「苦しい」けれどそれはとても「楽しい」ことではないでしょうか。5月の体育大会を皮切りに全校で取り組む行事がたくさんあります。何かを完成させるまで、成し遂げるまではいま

まくいかならないこともたくさんあるでしょう。「苦しい」と感じることも少なくないかもしれません。そんな時には、仲間たちと共に対話を重ね、どうすればよいのか粘り強く考え、諦めることなく実行に移して

てください。うまくコミュニケーションをとれずに行き違いがあったなら、素直に謝り、そして受け入れて関係を修復してください。誰でも失敗やあやまちはあります。どうか広い心で受け入れてください。そうしてそれまでよりもっともっと強い結びつきを築いてください。

遠慮しない、諦めない、間違ったら謝る、そして、最後までやり通す。あなた達ならば、きっと様々な困難を乗り越え、最高の「楽しさ」を手にすることが出来ます。三学期の修了式に言ったあなたたちの可能性を心から信じています。これからの一年間、共に頑張っていきましょう！

ブライスのこと(その2)

(前回に引き続き...)

ブライスは将来会社を経営したいと願っており、そのためにはフランス語だけでは十分ではなく、まずは英語を身に付けると言っていました。フランス語は世界では少数派だからと。英語はシンブルだからと。日本人に話されるのだとも。日本語も全く同様の立ち位置だが、果たしてそんな視点で物事を考えている日本の若者はどれだけいるでしょう。彼はまだ二十一歳で、家族から大切に育てられてきたのがよくわかりました。

彼は日本のアニメ「ナルト」を愛し、そのセリフの意味も分かるうとしていました。また、自身の出身地であるバヌアツに対しての複雑な思いも口にしていました。「バヌアツはアイランドライフだ」という彼の言葉の響きには複雑な故郷への思いが含まれていました。大切に思っているが、住むことは到底かなわない、ということをとため息交じりで話してくれました。

インスタグラムで、クラブで踊りまくって楽しむ姿を公開したり、刺青をいれたり現代っ子らしい一面もありますが、故郷に対しての複雑な苦悩も感じました。ブライスは空港からホテルまでのバスを私が予約していないことを心配して、もしどうしようもなくなったら家族に送らせるから心配するとも言ってくれ、その優しさが身に染みしました。短い時間の出会いでしたが、幸せに生きてほしいと心から思えました。彼の夢がかないますように...そう願わずにはいられない出会いでした。帰国して南太平洋の国々について調べましたが、複雑な歴史的背景があり、これからも学んでいくつもりです。またフランス語文化圏にも大いに興味をもちました。

校長室より

気候や気持ちの変化が大きいこの時期、体と心を大事にし、休めるときにはしっかり休息をとりましょう。何事も一歩一歩です。